

「行革甲子園 2018」エントリーシート

【取組の内容】

1 取組事例名

四国西予ジオパークミュージックプロジェクト

2 取組期間

平成 27 年度～（継続中）

3 取組概要

四国西予ジオパークミュージックプロジェクトの展開

- ①四国西予ジオパークミュージックコンテスト
- ②アマチュアミュージシャンとの連携
- ③四国西予ジオパーク動画コンテスト
- ④ジオミュージックの幅広い活用

4 背景・目的

リアル風景と音楽の融合

「ゲームに BGM があれば、リアル風景に BGM があってもいい」

RPG ゲームをプレイした時に経験する、新たなダンジョン（迷宮）を探索する期待と興奮、広大なフィールドを歩く際の胸の高鳴り……。これらの背景にはゲームの中で映し出される美しい風景とその雰囲気盛り立てる音楽があります。ゲームの映像は創り出された架空の風景ですが、「四国西予ジオパーク」には、心地よい日差しが照りつける高原や幻想的な溪谷、探検したくなる原生林や清流、鍾乳洞など RPG の中の映像と似た風景、またそれ以上の迫力をもった現実の風景が溢れています。

四国西予ジオミュージックプロジェクトでは、「ゲームに BGM があれば、リアル風景に BGM があってもいい」というコンセプトのもと、人々の営みや文化、生態系、地形、地質と地球との関わりを体感できる「四国西予ジオパーク」と音楽の融合を目的として事業展開を図りました。

5 取組の具体的内容

① 四国西予ジオパークミュージックコンテスト

多くのジオサイトやその多様なシチュエーションに応じるために、多くの楽曲が必要となります。このため、約1.5万人のクリエイターが参加する、日本最大級の音楽共有サービスを運営する事業者と連携し、公募制のコンテストを開催しました。審査委員長は、ファイナルファンタジーの楽曲を手掛けたことで有名な植松伸夫氏を招へい。二次審査員には、西予市とゆかりのある、シンガーソングライターYurica。氏、漫画家 樫本学ヴ 氏を迎え、約300曲ものジオミュージックが誕生しました。

② アマチュアミュージシャンとの連携

プロ・アマ問わず多くの音楽制作者が集まる音楽イベント「M-3」で有能なアマチュアミュージシャンをスカウトし、同プロジェクトに参画していただきました。アマチュアミュージシャンには、プロジェクト推進に関する様々なアドバイスを頂くほか、実際に四国西予ジオパークに招き、訪れることで感じられた雰囲気や環境音を活かした、クオリティの高いジオミュージックを制作していただきました。また、アマチュアミュージシャンとしての専門的な見地を活かしてプロジェクトのブラッシュアップを図りました。

③ 四国西予ジオパーク動画コンテスト

四国西予ジオパークミュージックコンテスト等を通じて誕生したジオミュージックを活用し、四国西予ジオパークが擁する特徴的な地形や地質、その中で育まれた生態系や人々の営みといった多彩な魅力を多くの方に伝えるための、映像作品を募集する動画コンテストを開催しました。審査委員長には、本県出身の映画監督である大森研一氏を招へい。入賞作品は、四国西予ジオパークのプロモーション動画として利用しています。

④ ジオミュージックの幅広い活用

ジオミュージックは、市役所や図書館、文化施設などの市内施設内BGMとして活用しているほか、ジオガイドが現地を案内する際のBGMとしても利用されています。また、市内最大の集客施設である道の駅どんぶり館では、観光客向けにジオミュージックを収録したオーディオプレイヤーの貸出を行い、四国西予ジオパークのPRとともに交流人口の拡大と地域活性化に取り組んでいます。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

【新規性】

「現地の雰囲気に合わせて制作された曲を現地で楽しむ」という、全国的にも他には例のない事業となっています。また、音楽作品の公募という形と、著作権を作成者に認めたまま、自治体が使用できるという新たな活用方法を見い出しています。

【工夫した点】

四国西予ジオパークには、その見どころであるジオサイトが74箇所存在しています。加えて、同じ見どころであっても、そこから感じられる雰囲気は季節や天候などによって全く違うことから、様々なシチュエーションに応じたジオミュージックを募集しました。これにより、一度訪れた場所でも訪れるたびに違った楽しみ方ができるよう工夫しています。

7 取組の効果・費用

【取り組みの効果】

クオリティの高いジオミュージックが多く誕生したことで、行政内での活用にとどまらず、地域団体が主催となり、ジオミュージックを核としたシンポジウムを企画するなど地域活性化に大いに寄与しています。さらには、市内事業者によるミュージックを楽しむ旅行商品の造成企画へと繋がるなど、地域経済にも徐々に好影響が出始めています。

また、本プロジェクトの副次的な効果として、コンテストの応募者が制作活動を通じて、西予市の魅力を現地で、あるいは映像や写真等から体感することで、西予市ファンの増加にも繋がっています。

【今後見込まれる効果】

今後は、ジオミュージックや動画コンテストで集まった動画作品などの質の高いコンテンツをプロモーション活動へ活かすべく、各地のデジタルサイネージで表示させる事や、プロジェクションマッピングへの応用などが考えられ、コンテンツの活用については、大いなる発展性が期待されています。さらに、他にはないユニークな取り組みは、特に若い世代や外国人観光客向けのコンテンツ観光の起爆剤となる可能性も秘めています。

【事業の経費】

H27 4,683 千円

H28 7,918 千円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

【課題】

現在約 300 曲ものクオリティの高いジオミュージックがあるが、その全てを活かしているとは言い難く、今後はより 1 曲 1 曲にフィーチャーした取り組みが求められています。

9 今後の予定・構想

【今後の構想】

これまでジオミュージックプロジェクトに携わっていただいた関係者（音楽家、映画監督、クリエイターなど）と連携し、ジオミュージックをフル活用し、四国西予ジオパークを舞台にした映画作品～ジオシネマ～の実現に向けた検討を予定しています。

10 他団体へのアドバイス

全国各地には、素晴らしい自然風景が残されていることから、本事業をロールモデルとして、風景と音楽の融合を他の地域においても取り組むことが可能です。さらに、発表の場を求めるクリエイターを対象として作品を公募することで、比較的少ない予算で事業の実施が可能です。

11 取組について記載したホームページ

<http://seiyo-geo.jp>